

The Greenpeace logo is displayed in white, bold, uppercase letters against a green background. The logo is positioned in the upper right quadrant of the slide, with several thin, white, wavy lines extending from the left side towards it.

## インドネシアにおける 気候・エネルギー問題の現状

Arif Fiyanto  
Greenpeace Southeast Asia - Indonesia  
September, 2014

### インドネシア – 気候変動

- インドネシアは、気候変動の影響に対して非常に脆弱：
  - 食料安全保障、農業や沿岸地域の生産性、水アクセスへの脅威
  - 水系感染症や昆虫媒介性疾病の増加
- 発展と貧困削減が危険に晒される

A vertical green bar on the right side of the slide contains the word "GREENPEACE" written vertically in white, uppercase letters.

## インドネシア – 気候変動

- 石炭火力発電所向け石炭の世界最大の輸出国
- 主に、森林伐採や泥炭火災があるために、世界で第3の温室効果ガスの排出国

GREENPEACE

## インドネシア – 気候変動

- 一人当たり温室効果ガス排出量の増加率は、一人当たりGDPの増加率より早い
- 現在のエネルギー成長路線は、炭素集約的な資源（石炭火力発電）の利用増加に依存したもの
- 国際エネルギー機関(IEA) (2007年)は、現政権の計画からシフトしない限り、インドネシアの化石燃料関連の温室効果ガス排出量は、2025年までに3倍になると予測。

GREENPEACE

## 現政権のエネルギー成長プラン： ファースト・トラック 電力事業 I & II (開発中)

採用年	2006	2010			
電力源	ファースト・ トラック I (MW)	ファースト・ トラック II (MW)	案件数 合計	発電量 合計	全体に 対する割合
石炭	14,611	3,672	84	18,283	71%
ガス	560	1,300	4	1,860	7%
地熱	440	3,867	46	4,307	17%
水力		1,174	3	1,174	5%
合計	15,611	10,013	137	25,624	

GREENPEACE

## バタン石炭火力発電所

- 海洋保護区の保護規定に反する同事業のため、条例を策定したバタン県政府に対する訴訟
- 同事業が環境に被害をもたらし、住民の生計手段を脅かすと主張する何千人もの住民が、何度も抗議活動

GREENPEACE

## バタン石炭火力発電所

- 建設されれば、同発電所一つで年間1,080万トンの二酸化炭素を排出することになる
- 年間約226キログラムの水銀も排出される
- 年間16,200トンのSO<sub>x</sub>、20,200トンのNO<sub>x</sub>、610トンのPM2.5も排出される

## バタン石炭火力発電所への融資

- バタン石炭火力発電所への日本の支援は、インドネシアや東南アジアの気候変動を加速化させうる。結果として、国内の環境社会影響の荒廃を招き、固定した排出量によって、世界は壊滅的な気候変動の路線へと下降していく。
- バタン事業は地元の強い反対により、長期間にわたって遅れている。また、脅迫や人権侵害によって、悩まされている。同事業に関係する公的かつ民間の金融機関は、自分たちの金融や風評リスクについて、再評価すべき。その代わり、きれいで持続可能な再生可能エネルギーと気候変動からの保護に不可欠な40億を支援すべき。

## JBIC、伊藤忠、J-Power等への提言

- 事業実施主体やインドネシア政府が同席しない形で、現地調査を実施し、地元住民やNGOに直接(かつ秘密裏に)面会すること。
- JBICガイドライン等のあらゆる関連規定に則って、事業を遂行すること。
- バタン石炭火力発電所への融資を拒否すること。
- 世界中の石炭関連融資を止め、よりクリーンで持続可能なエネルギー・プロジェクトを支援すること。
- バタン石炭火力発電所という汚染発電所を建設することにより、汚染された未来をインドネシアに強要しないこと。
- 汚染された化石燃料プロジェクトへの投資を止め、再生可能エネルギーへの投資を行なうこと。

## 結論

地元住民の懸念に加え、国際NGOとして、グリーンピースは、JBICの石炭関連支援を非常に懸念している。というのは、インドネシアが、炭素排出量増加率の最も早い国の一つとなってしまう、40年間の新たな排出量において、インドネシアを身動きできなくさせてしまうからだ。

気候変動はすでに、地球規模での安全保障の最大の脅威であり、不安定要素となっている。

バタン石炭火力発電所は、東南アジア最大の超巨大発電所となるため、決して推進してはならない。建設されれば、日本とインドネシア間の協力関係において、醜い象徴となるだろう。